

# 過疎地域持続的発展計画

## 地域住民アンケート

### 集計結果

#### 【調査概要】

令和2年の国勢調査の結果から令和4年4月1日付けで、天水地域が過疎地域に指定されました。この結果を受け、市では「過疎地域持続的発展のための玉名市の計画書」を定め、事業に取り組み過疎地域の早期脱却を目指します。このアンケートは、この計画を定めるにあたり、地域住民の意見・意向などを把握し、計画策定及び今後の取り組みの基礎資料とするために行いました。

#### 【調査期間】

令和4年5月～6月

#### 【対象者】 天水地域の住民

①保育園の保護者②小・中学校保護者③区長会④民生委員⑤消防団の部長以上⑥商工会理事⑦認定農業者役員及び総代⑧支館長⑨住民説明会参加者

計 758 名

#### 【回答者】

279 名（回収率 36.8%）

#### 【備考】

グラフ中の SA は単数回答、MA は複数回答、n は回答者数を示している。

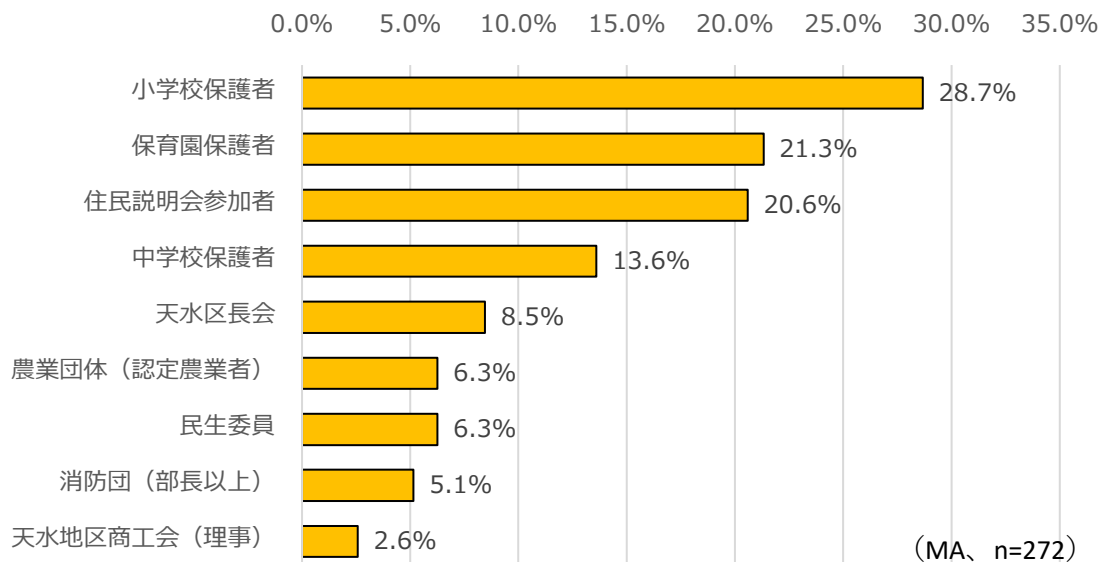
---

<b>1. あなたご自身のことについて</b> .....	<b>1</b>
1- (1) 回答者の所属 (複数回答) .....	1
1- (2) 性別・年齢構成・住まい .....	1
1- (3) 居住年数 (玉名市内にお住まいの方) .....	2
1- (4) 世帯構成 .....	2
1- (5) 職業 (複数回答) .....	3
1- (6) 就業地 (「専業主 (夫・婦)・家事」「無職」「その他」以外を選択された方) .....	4
<b>2. 過疎地域指定の認知度</b> .....	<b>4</b>
<b>3. 住み心地などについて</b> .....	<b>5</b>
3- (1) 住んでいる地域の住み心地について (天水地域居住者のみ) .....	5
3- (2) 住みやすい理由・住みにくい理由について (複数回答) .....	6
3- (3) 住まいの地区が好きかについて (天水地域居住者のみ) .....	10
3- (4) 天水地域の魅力・誇れることについて (複数回答) .....	11
<b>3. 過疎地域指定の脱却に向けて必要な取り組みについて</b> .....	<b>12</b>
<b>4. 居留意向について</b> .....	<b>14</b>
<b>5. 自由意見</b> .....	<b>15</b>
5- (1) 住環境 .....	15
5- (2) 産業振興 .....	18
5- (3) 子育て .....	20
5- (4) 道路・交通 .....	22
5- (5) 土地利用 .....	24
5- (6) 地域活動 .....	25
5- (7) 教育 .....	26
5- (8) 福祉 .....	28
5- (9) 防災・防犯 .....	28
5- (10) 環境保全 .....	29
5- (11) その他 .....	30

# 1. あなたご自身のことについて

## 1 - (1) 回答者の所属（複数回答）

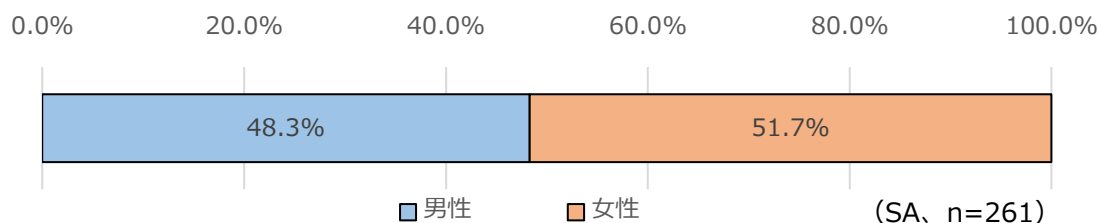
・所属については複数兼ねている方もいた。その中で小学校保護者の割合が最も高く、次いで保育園保護者、住民説明会参加者であった。



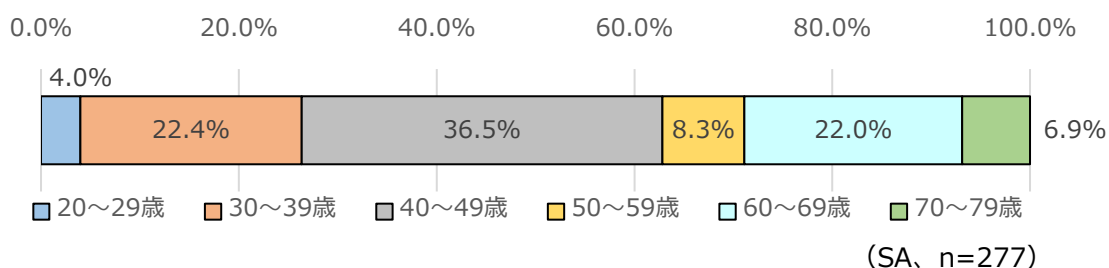
## 1 - (2) 性別・年齢構成・住まい

・回答者の属性をみると、性別は「女性」が半数を超え、年齢は「30代～40代」が6割弱を占める。

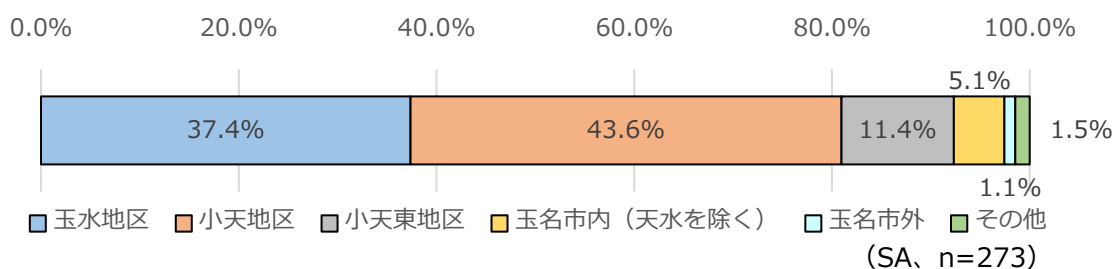
(性別)



(年齢)

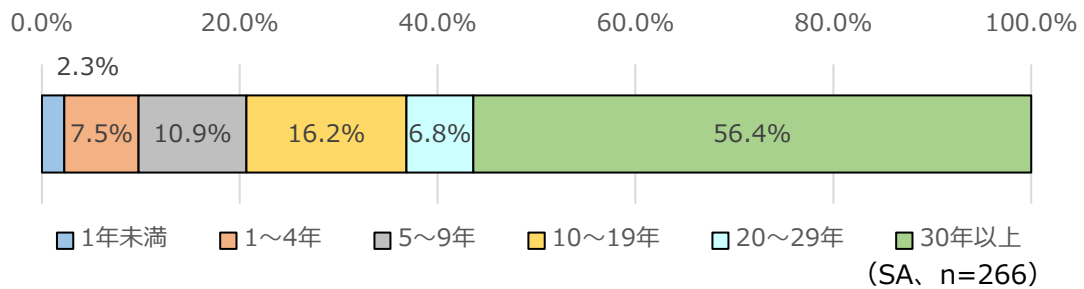


(住まい)



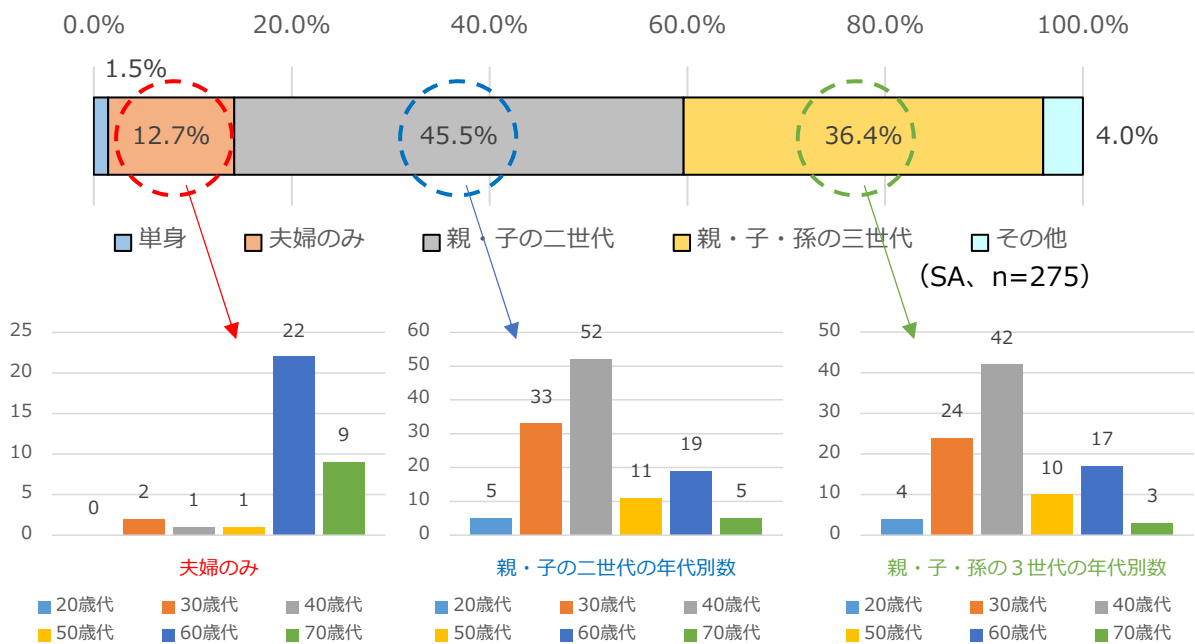
### 1 - (3) 居住年数 (玉名市内にお住まいの方)

・居住年数は、「30年以上」の割合が最も高く半数以上を占めた。居住歴10年以上が約8割を占め、長年住み続けられている方が多い。



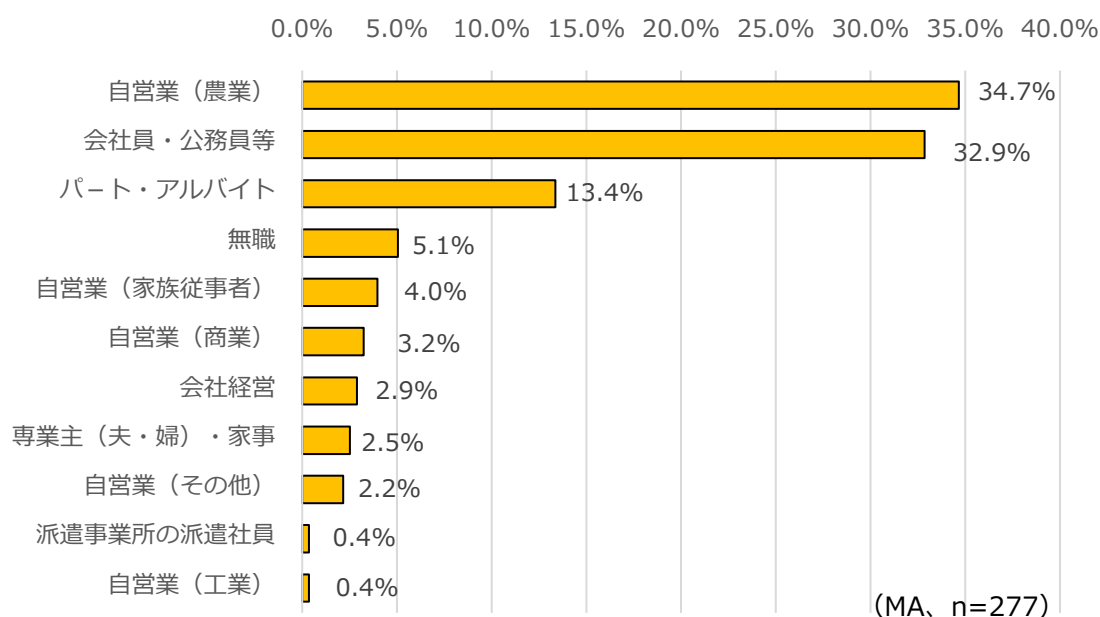
### 1 - (4) 世帯構成

・「親・子の二世代」の割合が最も高く、半数近くを占めた。  
 ・「夫婦のみ」は60歳代以上の高齢層が、「親・子の二世代」、「親・子・孫の三世代」は、ともに30歳代~40歳代が多く占める。

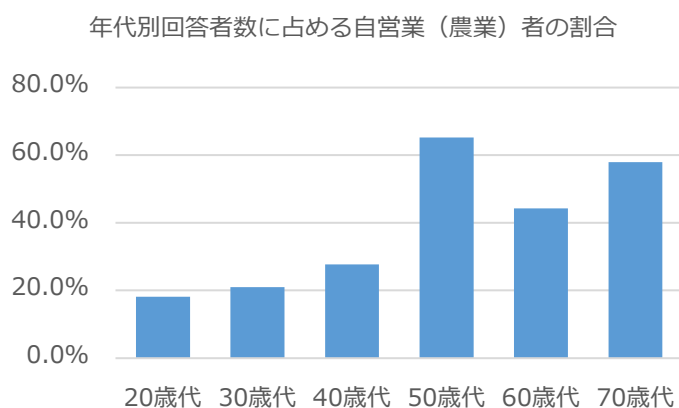


## 1 - (5) 職業（複数回答）

・自営業（農業）、会社員・公務員等が約7割弱を占めた。天水地域の基幹産業は農業のため、農業に従事する人の割合が多いのも地域の特徴の一つである。



### ①自営業（農業）について



- ・天水地域は市内の中でも第1次産業人口の割合が高い地域である。
- ・本調査の年代別回答者数に占める自営業（農業）者の割合をみると、営農者の高齢化が顕著である。
- ・農林業センサス（2020）では、天水地域で5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している割合が少なく、8割を超える農家が後継者の確保ができていない状況にある。
- ・後継者問題や耕作放棄地問題などへの対策が必要と予想される。

5年以内の後継者の確保 状況別経営体数 （農林業センサス2020）	玉名市	天水地域
経営体数	2,175	592
5年以内に農業を引き継ぐ 後継者を確保している割合	23.9%	15.2%
確保していない割合	76.1%	84.8%

## ②会社員・公務員等について

会社員・公務員等	男性	女性
20歳代	2	4
30歳代	10	15
40歳代	19	27
50歳代	3	0
60歳代	8	0
70歳代	1	0
総計	43	46

- ・会社員・公務員等及びパート・アルバイトについて性別・年代別にみると、女性の50歳代以降、どちらも人数が少ない状況にある。
- ・女性の50歳代以降の回答者が少ないことを考慮しても、女性が働く場が少ないことが予想できる。
- ・また、パート・アルバイトの男性の回答はなく、農業をされているか、あるいは、退職後の就業先が少ない可能性がある。
- ・誰もが働きたい時に、働けるように、多様な就業形態に対応した雇用の場を創出していくことが必要である。

## ③パート・アルバイトについて

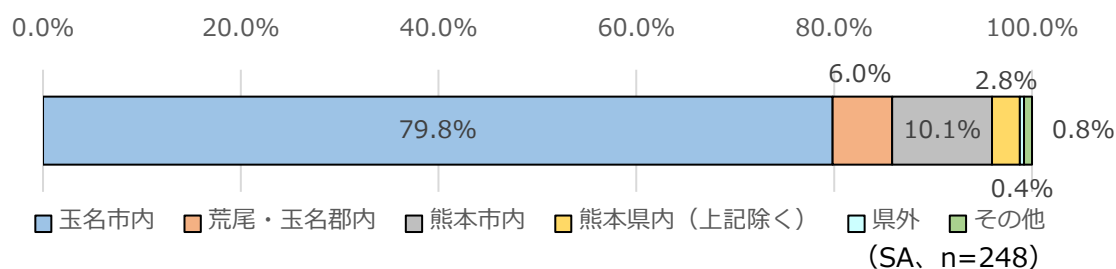
パート・アルバイト	男性	女性
20歳代	0	2
30歳代	0	18
40歳代	0	11
50歳代	0	2
60歳代	0	4
70歳代	0	0
総計	0	37

参考：性別・年代別の回答状況

	男性	女性
20～29歳	3	8
30～39歳	16	44
40～49歳	38	59
50～59歳	17	6
60～69歳	43	14
70～79歳	9	4
総計	126	135

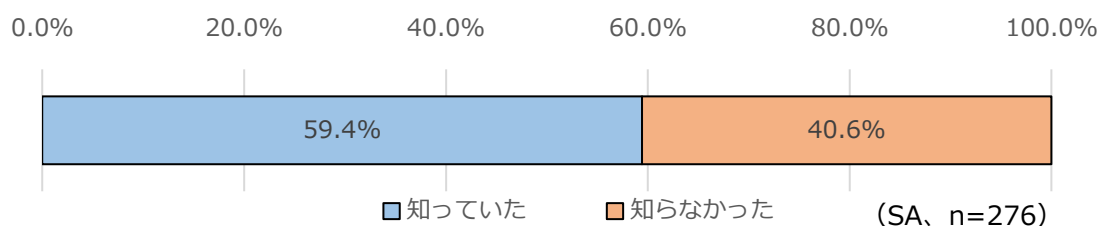
## 1 - (6) 就業地（「専業主（夫・婦）・家事」「無職」「その他」以外を選択された方）

玉名市内の割合が最も高く約8割を占める。



## 2. 過疎地域指定の認知度

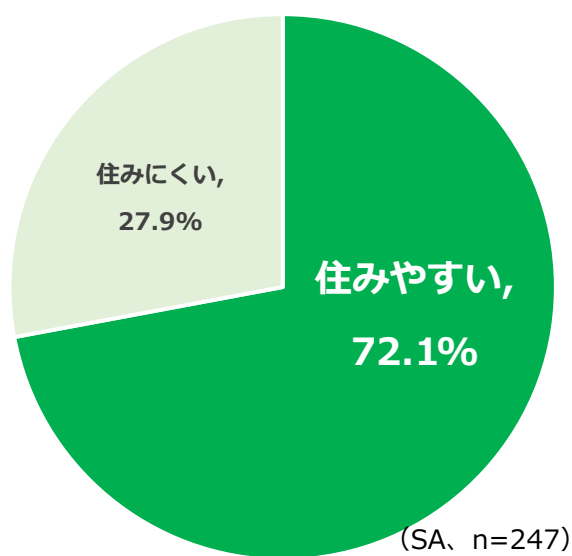
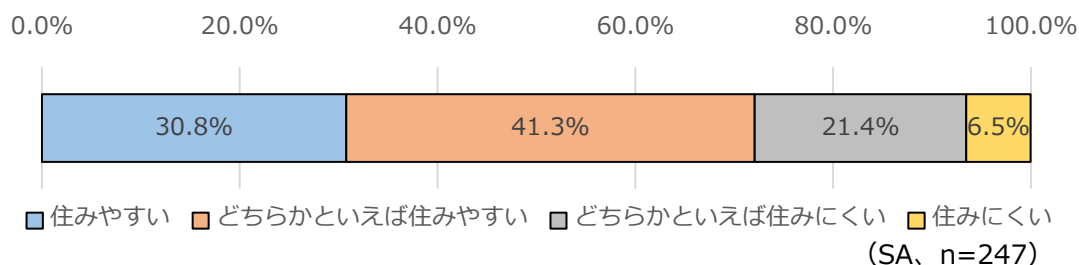
・「知らなかった」が4割を超える。



### 3. 住み心地などについて

#### 3- (1) 住んでいる地域の住み心地について（天水地域居住者のみ）

- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた「住みやすい」は7割を超える。
- ・年代別では、50歳代以上と比べて、40歳代以下は「住みにくい」の割合が高い。
- ・地域別では、玉水地区、小天地区と比べて、「小天東地区」で「住みにくい」の割合が高い。



年代別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
回答数	5	51	94	21	57	19
住みやすい_ (%)	0.0%	70.6%	60.6%	<b>81.0%</b>	<b>91.2%</b>	<b>84.2%</b>
住みにくい_ (%)	<b>100.0%</b>	<b>29.4%</b>	<b>39.4%</b>	19.0%	8.8%	15.8%

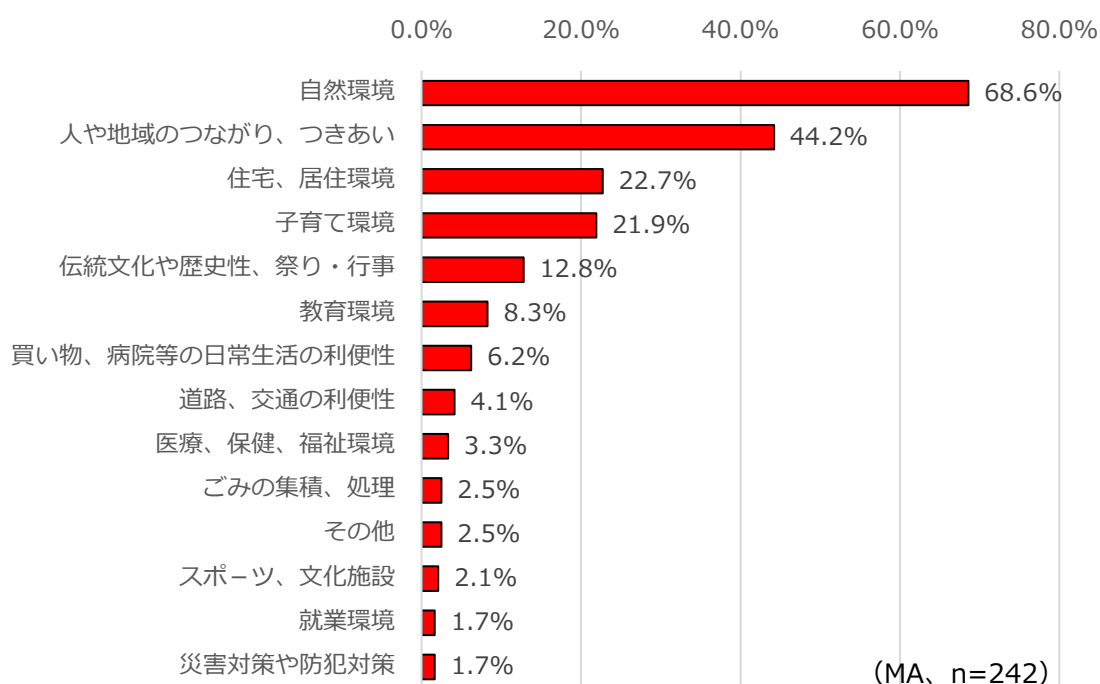
地域別

	玉水地区	小天地区	小天東地区
回答数	99	118	30
住みやすい_ (%)	<b>71.7%</b>	<b>75.4%</b>	60.0%
住みにくい_ (%)	28.3%	24.6%	<b>40.0%</b>

### 3 - (2) 住みやすい理由・住みにくい理由について（複数回答）

（住みやすい理由）

- ・1位「自然環境」、2位「人や地域のつながり、つきあい」、3位「住宅、居住環境」であった。
- ・年代別では、1位、2位の項目は共通している。3番目以降をみると、40歳代未満では「子育て環境」、50歳代、60歳代では「住居、居住環境」が挙げられている。また、60歳代と70歳代は4番目に「道路、交通の利便性」が挙げられている。
- ・地域別では、1位から4位までの項目は共通している。5番目に、玉水地区は「道路、交通の利便性」、小天地区、小天東地区は「伝統文化や歴史性、祭り・行事」が挙げられている。
- ・「自然環境」や「人や地域のつながり、つきあい」の良さを基本として、住環境や子育て環境が整っていることが伺える。



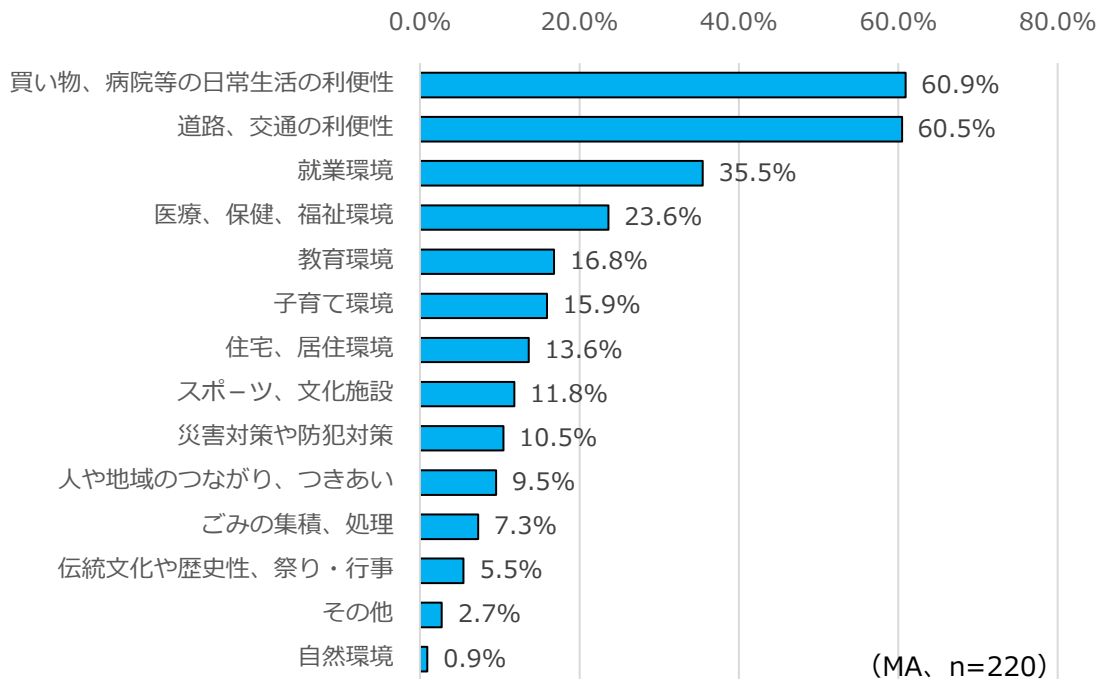


年代別の上位5項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
自然環境	1位	1位	1位	1位	1位	1位
住宅、居住環境	4位	3位	4位	3位	3位	
子育て環境	2位	3位	3位	4位		
教育環境				4位		
医療、保健、福祉環境						
就業環境				4位		
道路、交通の利便性					4位	4位
買い物、病院等の日常生活の利便性						4位
災害対策や防犯対策						
ごみの集積、処理						
人や地域のつながり、つきあい	2位	2位	2位	2位	2位	2位
スポーツ、文化施設	4位					
伝統文化や歴史性、祭り・行事		5位	5位	4位	4位	
その他						3位

地域別の上位5項目	玉水地区	小天地区	小天東地区
自然環境	1位	1位	1位
住宅、居住環境	3位	4位	3位
子育て環境	4位	3位	4位
教育環境			
医療、保健、福祉環境			
就業環境			
道路、交通の利便性	5位		
買い物、病院等の日常生活の利便性			
災害対策や防犯対策			
ごみの集積、処理			
人や地域のつながり、つきあい	2位	2位	2位
スポーツ、文化施設			
伝統文化や歴史性、祭り・行事		5位	5位
その他			

(住みにくい理由)

- ・ 1 位「買い物、病院等の日常生活の利便性」、2 位「道路、交通の利便性」、3 位「就業環境」であった。
- ・ 年代別では、上位 3 項目はほぼ共通している。3 番目以降をみると、20 歳代～40 歳代及び 60 歳代、70 歳代は「医療、保健、福祉環境」、30 歳代～50 歳代は「教育環境」、また、20 歳代～60 歳代では「子育て環境」が挙がっている。子どもや孫の生活面、また、ご自身の健康面を反映した結果であると思われる。
- ・ 地域別では、上位 5 項目は共通している。
- ・ 「日常生活の利便性」、「道路、交通の利便性」、「就業環境」は、年代や地区を問わず共通した項目であり、より住みやすい地域づくりに向けてはこれらの整備対策が必要であることが伺えた。

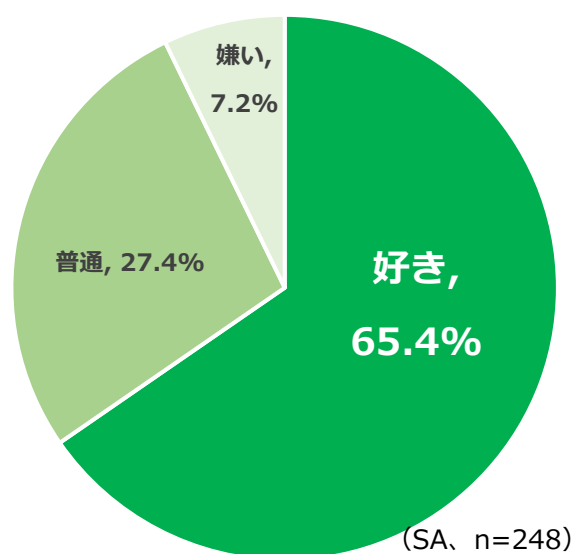
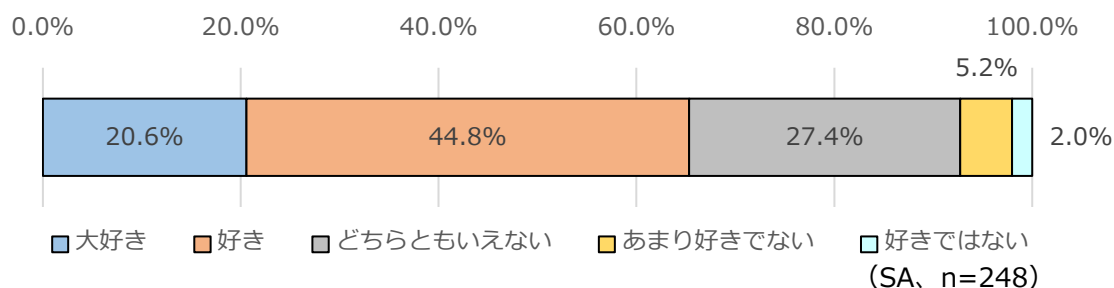


年代別の上位5項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
自然環境						
住宅、居住環境	4位		5位			
子育て環境	<b>3位</b>	5位		5位	5位	
教育環境		5位	5位	4位		
医療、保健、福祉環境	4位	<b>3位</b>	4位		5位	<b>3位</b>
就業環境	4位	<b>3位</b>	<b>3位</b>	<b>3位</b>	<b>3位</b>	<b>3位</b>
道路、交通の利便性	<b>1位</b>	<b>2位</b>	<b>1位</b>	<b>1位</b>	<b>1位</b>	<b>2位</b>
買い物、病院等の日常生活の利便性	<b>2位</b>	<b>1位</b>	<b>2位</b>	<b>2位</b>	<b>2位</b>	<b>1位</b>
災害対策や防犯対策					4位	
ごみの集積、処理						
人や地域のつながり、つきあい					5位	5位
スポーツ、文化施設			5位			
伝統文化や歴史性、祭り・行事						
その他						5位

地域別の上位5項目	玉水地区	小天地区	小天東地区
自然環境			
住宅、居住環境			
子育て環境		5位	5位
教育環境	5位	5位	5位
医療、保健、福祉環境	4位	4位	4位
就業環境	<b>3位</b>	<b>3位</b>	<b>3位</b>
道路、交通の利便性	<b>1位</b>	<b>2位</b>	<b>1位</b>
買い物、病院等の日常生活の利便性	<b>2位</b>	<b>1位</b>	<b>1位</b>
災害対策や防犯対策			
ごみの集積、処理			
人や地域のつながり、つきあい		5位	
スポーツ、文化施設			
伝統文化や歴史性、祭り・行事			
その他			

### 3 - (3) 住まいの地区が好きかについて（天水地域居住者のみ）

- ・「大好き」と「好き」を合わせて「好き」は6割を超える。
- ・年代別では、50歳代以上と比べて、40歳代以下は「普通」、「嫌い」の割合が高い。
- ・地域別では、玉水地区、小天地区と比べて、「小天東地区」は「好き」の割合が高い。



#### 年代別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
回答数	5	51	93	20	60	19
好き_ (%)	60.0%	64.7%	51.6%	<b>75.0%</b>	<b>78.3%</b>	<b>84.2%</b>
普通_ (%)	<b>40.0%</b>	<b>27.5%</b>	<b>36.6%</b>	25.0%	16.7%	15.8%
嫌い_ (%)	<b>0.0%</b>	<b>7.8%</b>	<b>11.8%</b>	0.0%	5.0%	0.0%

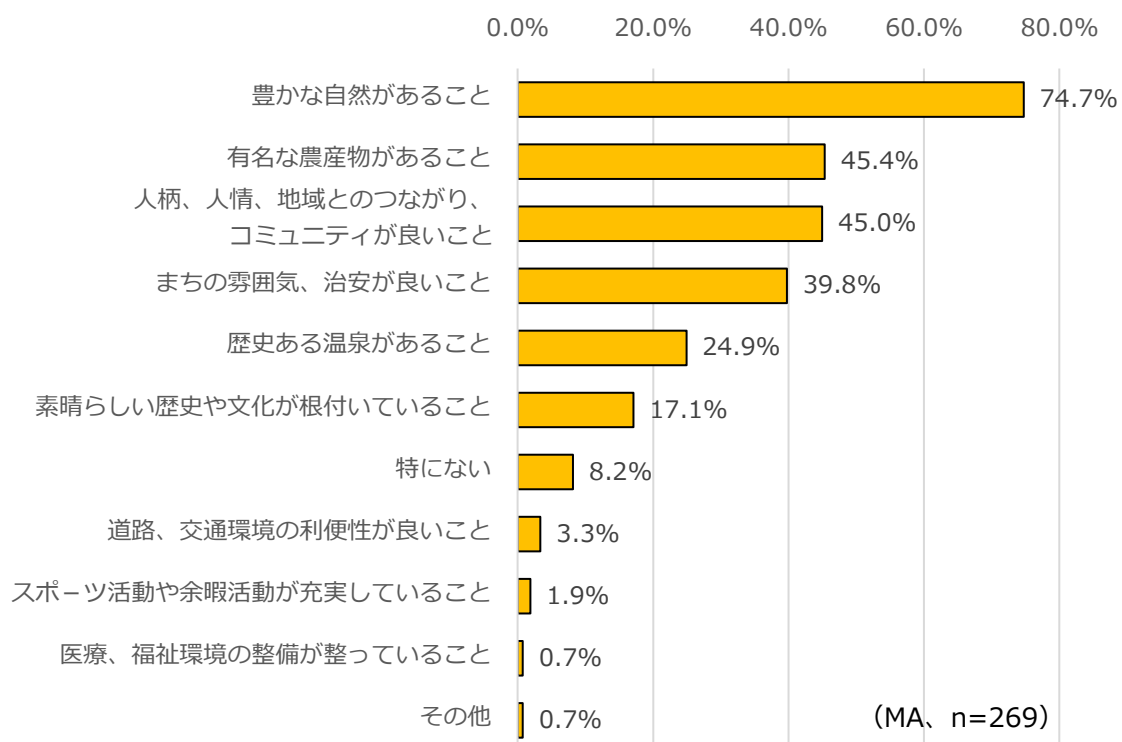
#### 地域別

	玉水地区	小天地区	小天東地区
回答数	100	118	30
好き_ (%)	61.0%	66.1%	<b>76.7%</b>
普通_ (%)	6.0%	5.1%	3.3%
嫌い_ (%)	33.0%	28.8%	20.0%

### 3 - (4) 天水地域の魅力・誇れることについて（複数回答）

・ 1位「豊かな自然があること」、2位「有名な農産物があること」、3位「人柄、人情、地域とのつながり、コミュニティが良いこと」であった。

・ 住みやすい理由として、「自然環境」、「人や地域とのつながり、つきあい」などが上位に挙がっていたが、住みやすいと感じていることが、地域の魅力、誇りにもつながっている。



### 3. 過疎地域指定の脱却に向けて必要な取り組みについて

- ・優先順位の1位は「子育て環境の充実」、2位は「移住及び定住促進並びに都市との交流」、3位は「産業（農林水産業、商工業、情報通信業等）の振興」であった。
- ・「子育て環境」については、住みやすい理由の上位に挙がっており、その良さを伸ばすことが求められている。「移住及び定住促進」については、人口要件が過疎地域指定の要件であり、過疎脱却のために必要な取り組みと認識されているものと推察できる。「産業の振興」については、住みにくい理由として「日常生活の利便性」や「就業環境」が上位に挙がっていることから、その対策が求められている。
- ・その他、「住みやすい理由」や、「地域の誇りや魅力」でも挙がっていた「コミュニティ（人、地域のつながり）」に関連して「地域の担い手、人材育成」が必要との意見や、住みにくい理由の上位に挙がっている「道路、交通の利便性」に関連して「交通手段の確保」の取り組みを進める必要があるとの意見が上位に挙がっており、これらの整備対策が必要であることが伺えた。

優先順位	取り組み
1位	子育て環境の充実
2位	移住及び定住促進並びに都市との交流
3位	産業（農林水産業、商工業、情報通信業等）の振興
4位	地域公共交通（バス、乗り合いタクシー等）の交通手段の確保
5位	地域の担い手、人材育成
6位	天水地区における情報化（5Gの利用、フリーWi-Fiの設置など）
7位	道路、歩道の整備・補修
8位	集落の整備（空き家対策、自治会組織）
9位	教育環境（ICT教育、外国語教育等）及び教育設備の充実
10位	観光の振興
11位	高齢者等福祉の向上、介護サービスの充実
12位	地域医療（地元診療所等）の確保
13位	消防、防犯施設（防犯灯、防犯カメラ）の整備・補修
14位	上水道及び下水道設備の整備
15位	地域の伝統文化、祭りや行事の継承
16位	一般廃棄物対策（ごみの減量化、ごみ出しステーションの設置等）
17位	再生可能エネルギーの利用促進
18位	その他

・「住みやすい」、「住みにくい」と回答した両者に共通する上位項目として、「子育て環境の充実」、「産業（農林水産業、商工業、情報通信業）の振興」が挙げられる。

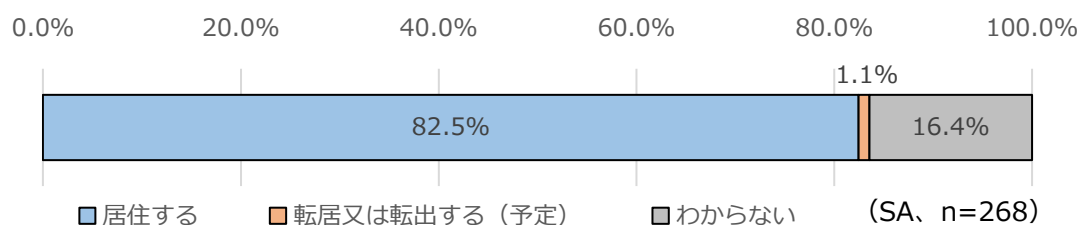
・「住みやすい」と回答した者の1位は「移住及び定住促進並びに都市との交流」であり、住みやすい環境を生かして、定住人口や関係人口の増加を求めていることが伺える。

・「住みにくい」と回答した者の3位は「地域公共交通（バス、乗り合いタクシー等）の交通手段の確保」、4位「移住及び定住促進並びに都市との交流」、5位「集落の整備（空家対策、自治会組織）」であり、住環境の改善及び人口流入対策が求められている。

過疎脱却に向けて必要な取り組みは？ 【項目】		住みやすい ma;n=178	住みにくい ma;n=69
1	移住及び定住促進並びに都市との交流	<b>1位</b>	<b>4位</b>
2	地域の担い手、人材育成	4位	7位
3	産業（農林水産業、商工業、情報通信業等）の振興	<b>3位</b>	<b>2位</b>
4	観光の振興	9位	12位
5	天水地区における情報化（5Gの利用、フリーWi-Fiの設置など）	6位	9位
6	地域公共交通（バス、乗り合いタクシー等）の交通手段の確保	<b>5位</b>	<b>3位</b>
7	道路、歩道の整備・補修	7位	6位
8	上水道及び下水道設備の整備	15位	12位
9	一般廃棄物対策（ごみの減量化、ごみ出しステーションの設置等）	16位	14位
10	消防、防犯施設（防犯灯、防犯カメラ）の整備・補修	13位	11位
11	子育て環境の充実	<b>2位</b>	<b>1位</b>
12	高齢者等福祉の向上、介護サービスの充実	10位	15位
13	地域医療（地元診療所等）の確保	12位	10位
14	教育環境（ICT教育、外国語教育等）及び教育設備の充実	11位	7位
15	集落の整備（空き家対策、自治会組織）	8位	<b>5位</b>
16	地域の伝統文化、祭りや行事の継承	14位	16位
17	再生可能エネルギーの利用促進	17位	16位
18	その他	18位	18位

## 4. 居住意向について

- ・「居住する」が8割以上を占める。
- ・年代別では、40歳代以下と比べて、50歳代以上は「居住する」の割合が高い。
- ・地域別では、玉水地区、小天東地区と比べて、「小天地区」で「わからない」の割合が高い。  
これは、小天地区は他地区と比べて、40歳代以下の回答者が多いためと考えられる。



### 年代別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
回答数	5	51	94	21	59	17
居住する_ (%)	60.0%	86.3%	76.6%	<b>95.2%</b>	<b>96.6%</b>	<b>100.0%</b>
転居又は転出する_ (%)	20.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない_ (%)	<b>20.0%</b>	<b>13.7%</b>	<b>22.3%</b>	4.8%	3.4%	0.0%

### 地域別

	玉水地区	小天地区	小天東地区
回答数	100	117	30
居住する_ (%)	<b>90.0%</b>	81.2%	<b>93.3%</b>
転居又は転出する_ (%)	1.0%	0.9%	0.0%
わからない_ (%)	9.0%	<b>17.9%</b>	6.7%



## 5. 自由意見

・130人の方から、312件の意見を頂いた。分野別に整理すると、「住環境」に関する意見が最も多く、次いで、「産業振興」、「子育て」、「道路・交通」が続く。

分野	意見数	割合	分野	意見数	割合
住環境	68	21.8%	教育	20	6.4%
産業振興	50	16.0%	福祉	12	3.8%
子育て	40	12.8%	防災・防犯	8	2.6%
道路・交通	32	10.3%	環境保全	4	1.3%
土地利用	23	7.4%	その他	33	10.6%
地域活動	22	7.1%	総計	312	100.0%

### 5－（１）住環境

・住環境については、「移住及び定住促進（PR活動）」に関する意見が最も多く、次いで、「住みやすい町づくり」、「住宅の確保・取得支援」に関する意見が続く。

<b>住環境</b>	<b>68</b>
移住及び定住促進（PR活動等）	18
住みやすい町づくり	13
住宅の確保・取得支援	12
空き家の利活用促進	10
宅地の整備	10
インフラの整備（通信等）	5

#### ①移住及び定住促進（PR活動等）（意見数18）

- ・移住者を増やす
- ・移住者を促進するなど、いろいろと考えられると思いました。
- ・外国人家族受け入れ
- ・現在、農業に従事している若者が仕事に一生懸命で余裕が無いように思われます。活性化するためには、人が集まらなければなりません。
- ・若い芸術家の移住推進。小天東小学校を、アトリエ、店舗、宿泊施設に活用。作品をハイキングコースに展示。
- ・若者達を引き止めないことには、人口は増えないと思います。
- ・将来、天水地区を担う若者の意見を聞く必要があると思います。今の子供達が大人になって自分の生まれた所が誇れるように他に発信して、他の都市との交流で人の流れを作らなければならないと思います。
- ・乗合タクシー利用年代？人口増、人が増えていない。40年間、人口減少率を下げる。
- ・人を集め、企業を呼び、地元に残れる環境を整備してほしい。
- ・人口が減らない対策を

- ・他の地区からの移住はハードルが高い。まずは若い人の他の地域への流出を止めることだと考える。
- ・地域おこし協力隊を支所に配置し、持続可能な地域づくりを先導してもらいたい
- ・地域おこし協力隊等、全国から募集して、住んでもらって天水の良さを見出して、引っ張ってもらおう。そして、協力隊員も定住につながればよい。
- ・定住者促進
- ・定住促進を考慮する策をお願いしたいと思います。
- ・天水地区は、とても住みやすいところと、治安が良いところをアピールしてほしいです。
- ・天水地区は、治安がよく、とても住みやすい所をアピールしてほしいです。
- ・都会へはこれ以上、人が流入してくれるなという目的がある。

## ②住みやすい町づくり（意見数 13）

- ・では、何をするのか。限界集落にならないために。人が住みやすい町作り（住民からの要望書、土木課など）
- ・過疎債等を利用し、豊かな町作りに活用して頂きたい。安易に過疎地域脱却を考えるエネルギーより、生活している人への楽しむ方法を考えるべき。
- ・公園や、住宅街が充実したらいいのではないのでしょうか？
- ・今現在の住民がより住みやすい環境にする（例えば、中学生以上の子供達が大人になった時に子育てしやすい環境。）
- ・子どもから高齢者まで、安心して暮らせる町づくり、施設づくり。
- ・私達住民も一緒に努力し、町の発展に心を配りたいと考えています。
- ・若い人は天水に何も無いと言っています。もっと若い人を呼び込むには課題が多いと思いますが 1 つ 1 つでもその課題を進めてほしい。それと市民にもっと玉名市の計画などを幅広く公開してほしい。
- ・若い人達が住みやすい環境をつくる。
- ・若い世代へ向けての対策が重要。
- ・若者が町に住みたいと思えるような環境作り
- ・親がいるので、天水に住んでいます。正直天水は不便で魅力はありません。
- ・同居や、職場が近くない限り、わざわざ天水に住む必要が無いと感じます。
- ・特に若者や若いカップルに呼びかけて、自然あふれる我が町に住み、活性化を期待し、魅力ある町に蘇るふるさとを切に希望します。

## ③住宅の確保・取得支援（意見数 12）

- ・アパート、マンションが少ない。
- ・アパートや住宅地として開発してほしい。
- ・戸建て売りなどを積極的にしてほしい。
- ・使われていない土地や中古の家を安く提供するシステムを作って欲しい。お年寄りの割合が多くなってきて、一人で住んでいる人も多く、住む人がいなくなった一軒家など提供してほしい。知り合いが多くなると、そういった情報は入ってこない。子育て世代には中古でも家を持てるのは定住化に繋がると思う。
- ・市営団地などがあればいい。
- ・集合住宅の建設。

- ・住の拡充も進めて。
- ・住みやすい環境にし住宅を増やす
- ・賃貸の物件が少ないので、永住者を増やすなら家を建てる時の支援等が必要。
- ・定住化促進。空き家の購入とリフォーム資金の補助。分譲地の購入費用の補助。
- ・土地の有効活用 もっとアパートや貸家があったらいいと思います
- ・本当なら玉名での企業誘致で雇用が生まれることが一番ですが、熊本市や菊陽で働く人等のベッドタウン化を目指し、子育て世代の定住を目的とした市営住宅や道路整備は必須(特に天水には市営住宅が無い)。若い農家夫婦も基本的に同居は嫌な人が多いから、住むところがなく伊倉や熊本市内から通っている人もいる。みかんの丘(ナルシストの丘)周辺に新居が建っているのは何ででしょうね？やるべき事がありますよね。

#### ④空き家の利活用促進（意見数 10）

- ・空き家バンク等にも力を入れて住みやすい町にしてほしい。
- ・空き家・不動産の有効活用（有効活用の前に天水町の良い所のアピールづくりが必要）
- ・空き家バンクの活用。
- ・空き家をリフォーム
- ・空き家を利用し、他所から移転できる環境をつくる。
- ・空き家を利用した住宅補助を行う
- ・空き家対策
- ・空家の再利用
- ・田舎の人は考えが凝り固まっています。いつか使う、あれば何かに使う！転ーとある空き地や空き家、ただ朽ちていくのを見ているだけでは人は来ません。いつ使うのでしょうか？

#### ⑤宅地の整備（意見数 10）

- ・空き家が多いが、宅地として売っている土地も少ない。
- ・景観を活用した別荘地分譲
- ・景色のいい所に新居を建てたいと思うが、売地がない(情報がない)。素晴らしい自然があるのだから、見晴らしのいい所に住宅地を整備する。
- ・結婚して実家を出る場合そもそも住む場所(アパートや家を建てれる土地)が少ない。
- ・市営住宅や家を建てる場所が少ないため、高い家賃とかで借家など借りるしかない。
- ・住宅を建てやすい条件。
- ・住宅区域の整備等。
- ・宅地の整備は欠かせないと思います。
- ・農地から宅地に変更ができないので、天水地区に住みたくても住めずに離れていくとよく聞きます。人を受け入れるためには宅地が必要。
- ・家を建てる土地がない。

#### ⑥インフラの整備（通信等）（意見数 5）

- ・IT化を促進し、田舎でも都会と同じような教育や医療を受けられたり、若い世代が住みやすい地域を作ることで、活性化や定住につながると思う。
- ・今の世の中、IT環境を整える
- ・地方に住んでいても都会と同じような通信網であってほしい。

- ・通信インフラの設備が圧倒的に遅い。数年前にやっとインターネット光が来たが、それまでは通信僻地。WiMAXなども自分の居住地では入らない。若い世代の流入をすでに取りこぼしている。
- ・都市部と比べ、特に過疎地域はインフラの未整備が目立つ。

## 5 - (2) 産業振興

・産業振興については、「企業誘致・雇用の創出」に関する意見が最も多く、次いで、「住観光・物産振興」、「就農（若者・女性）支援」に関する意見が続く。

産業振興	50
企業誘致・雇用の創出	23
観光・物産振興	10
就農（若者・女性）支援	7
草枕温泉の観光地化促進	5
農家へのサポート（跡継ぎ支援、排水施設等）	4
跡継ぎ支援	1

### ①企業誘致・雇用の創出（意見数 23）

- ・IT企業の誘致も考える必要があると思う。
- ・リモートワークやICT技術や5Gなどデジタルな就業環境を充実させて企業誘致を進める。
- ・何か農業以外での大きな就業場所がほしいです。
- ・何歳まででも働いていける労働の場を作ってほしい。
- ・企業誘致
- ・企業誘致が無いと、子供達が地元から離れて行く。
- ・企業誘致で農業以外の仕事を増やす。南関町、和水町では実施されている。
- ・休耕（田畑）の集合化で企業誘致スペースを確保する
- ・玉名市内に企業を作ること（企業誘致）
- ・雇用を確保する
- ・雇用を増やして町から通える様にできる
- ・雇用促進
- ・在宅ワーク可能な企業との雇用提携
- ・子供たちの人数も減少しているので、移住・定住のため商業・工業（補助金を出して企業誘致）
- ・若い人たちの働き口を増やすべき
- ・若い人を呼ぶためには、若い人が収入を得られる仕事ができる場所が必要である。子供達が働きに他の県に行かなくて済むような収入が得られるようにする必要がある。
- ・若い世代が働く産業、工業会社の誘致が必須である。
- ・若者が定住して仕事ができるような企業・商業施設の設置が必要
- ・就業先は町にもう少し増えるようにするとパートタイムのお母さん達は助かると思う。
- ・人を受け入れるためには職場が必要です。大手企業誘致があればいいなと思います。
- ・他産業の導入により、収入UPが重要だと思う。

- ・大型の工場等を建て、人を呼び込む
- ・地元例えばコールセンター等の企業を誘致して、職場を確保し居住者を増やす（住居は空家のリフォームで補う）

## ②観光・物産振興（意見数 10）

- ・1人、2人住まいの広い家等は、地域の理解を得て、市の協力、指導をもらいながら農家民泊などを進めて欲しい。
- ・アウトドア施設やキャンプ場の開発で、他地域からの観光客を呼び込む
- ・キャンプができる施設を作り、市外からの訪問者を増やし、天水町を知ってもらい、気に入られるような町づくりをしてほしい。
- ・たくさんの特産物が有るので、観光とつなげていく。
- ・まず玉名市中心街がラーメンや温泉で集客できる街づくりをして住民を増やしそこから周りの町にも移住者を増やしたらどうか。
- ・夏目漱石、笠智衆の独自の観光を考えていく
- ・観光資源のPR
- ・草枕温泉、実山公園を含めた農道近辺の観光資源開発。2の岳、3の岳ハイキングコースの整備。キャンプ施設、サバゲー施設、道の駅風の販売施設。
- ・大規模直売所の整備
- ・雄大な自然と美味しい農作物があるのに、ブランド化できてないのも勿体ないと思う。

## ③就農（若者・女性）支援（意見数 7）

- ・後継ぎが育ちにくいのか、子どもが少なくなってさみしい。農業の活性化で若者が増える取り組みが大事。
- ・今、農業が楽しいです。しかし、子育ての時分、みかんの価格の低迷があまりにも長く続き、子どもに農業への選択はできない状況でした。そのような中で天水町は、農家の女性にもチャレンジするチャンスを作り、郷〇市直売所を開設されました。今、頑張っている所です。
- ・若い人の仕事、農業で生活できる状況作り後継者の育成
- ・天水の最たる基幹産業は農業であります。その農業の発展無くして、過疎地域脱却は不可能と考えます。勢いのある、意欲的な若者を中心とした農業団体、玉名市のバックアップが必要です。
- ・認定農家の優遇を見直していただきたいです。今のままでは、新しい芽が潰れてしまいます。どうせ天水は高齢地域だからと、若者が諦めてしまったら脱却は不可能だと考えます。
- ・農業体験希望者等に貸し出すとかできないか。この地に居住して農業に精を出してもらおう。
- ・農地の休耕田や放棄地を行政が借り上げて、農業を志す若者を呼び込み貸し出す。

## 草枕温泉の観光地化促進（意見数 5）

- ・草枕、縁の地として住みたくなる町雰囲気作り、それに伴うここだけにしか無いアートギャラリーやカフェ、食事店舗の厳選取り込み時間のある主婦層のドライランチ温泉コースそういう流れを作る
- ・草枕温泉てんすいのリニューアル。
- ・草枕温泉という素晴らしい温泉があるのに、それを生かしてきれていないのも残念です。温泉の隣のグランドゴルフ場？に公園を作れば、帰りに温泉に入ったりして利用する人も増えるのではないのでしょうか。

- ・草枕温泉の大規模改良（リニューアル）をおこなってはどうか。
- ・草枕温泉を活用し、地域の活性化を図って欲しい（温泉の整備、客の来る温泉、食事処、人材育成）

#### 農家へのサポート（跡継ぎ支援、排水施設等）（意見数4）

- ・みかん農家が、継続していけるような、強力なバックアップ体制を作ってください
- ・私は受免地区で農業をしているが、年中作物を育てたいが、水害で作付けが難しい。唐人川の土が溜まって樋門が作動しないため、もっと排水施設を整備して欲しい。
- ・私は専業農家ですが、現状では油の価格の上昇等で農家の収入減が続き、何らかの対策をやって豊かな農業の実現を早く
- ・生活するための産業も必要で、天水町では農業が中心なので、その増収を図る

#### 跡継ぎ支援（意見数1）

- ・商業、工業、観光、農業者等、自営業をされている方に対して後継者がいないという問題があると思うので、子供が後継ぎをするのに負担が少ない様に補助金や支援があるといいと思います。商工会等に相談したこともありますが、補助金をもらうための手続きが、凄く大変なので簡素化されると助かります。

### 5－（3）子育て

- ・子育て環境については、「子育て環境の充実」に関する意見が最も多く、次いで、「子育て支援制度の充実（給付金、通学補助等）」、「子どもの遊び場の充実」に関する意見が続く。

子育て	40
子育て環境の充実	15
子育て支援制度の充実（給付金、通学補助等）	13
子どもの遊び場の充実	12

#### ①子育て環境の充実（意見数15）

- ・コメリは近くに2ヶ所もあり、ダイキもありますが、あまり集客できていないような気がします。本音を言えば、コスモス薬局が欲しいですが、今ある店舗でももう少し子育て世代にありがたい品揃えになれば、利用する人も増えるのではないのでしょうか。
- ・今後の天水町のためには子育て世代を取り込むことが重要だと思います。でも今は小児科もなければ、子供を遊ばせる公園すらありません。
- ・子育てにも過不足ない環境を整えば、移住者も増やせるのではないか。
- ・子育て環境
- ・子育て世代が安心して住めるような町になって欲しいです。
- ・子育て世代に優しい地域作りが必要と思います
- ・子供用品(服や靴や文房具)、飲食店(回転寿司や焼肉)等、子育て世代にとっては一回で済む場所、複合施設があれば移動もせずとても便利です。結局天水では揃わないので、よそでお金を使うことになりすし不便です。
- ・若い人が来ないと、子供は増えない。

- ・人口増に関する事項として、既に住んでいる方が子供も増やす→子育て環境の充実・子育てし易い地域、外部から住んでもらう→生活環境の魅力アップ、景観・自然の活用・生活コストの軽減→評価経済、助け合い、共同農園
- ・他地域に無い子育て支援政策を行い、移住定住に向けた積極的な施策を進める
- ・地域（1,000～3,000人程度）に必要な保育園、小学校、診療所、郵便局などの公共施設を存続させ・充実させることが重要だと考えます。近くには、若いお母さんから選ばれる保育園があり、また南関町、玉東町は色々とアイデアを出し頑張っています。そこに、課題解決に向けたヒントが詰まっています。
- ・地域を活性化するための活動をおこない、移住したい街づくりに取り組み、子育てしやすい環境を提供する。
- ・店を増やす
- ・農家民泊等で来てもらって、子どもの自然と共存して育てていくことを、親が感じてくれる人達が増えれば良い。
- ・保育園でも子供が減ってる現状を目の当たりにしており、うちの子供の学年は地元と町外半々の割合です。

## ②子育て支援制度の充実（給付金、通学補助等）（意見数 13）

- ・天水から会社勤めするにしても子育てしやすい支援や環境があると、自然豊かな地域で生活したいと思う若者は多いと思う。
- ・過疎地域脱却したいのであればもっと天水に住んでたら得をする補助金制度などが無いと人は増えないと思います。
- ・玉名市として、子育て支援が隣町より、あまり良くないため、子供が増えない。と思います。
- ・子育て支援。
- ・子育て支援を充実。
- ・子供が小学校の低学年だが、時間割によっては1人で下校になるので学童を月に2～4回利用しています。それでも1ヶ月の利用料が必要になります。スクールバスをもう少し臨機応変に対応して欲しい。乗りあわせの子供タクシーはどうでしょうか？学校から自宅までの距離に応じて料金を取るかたちで。
- ・若い世帯が定住できるような子育てに対する支援が必要
- ・住宅手当や出産手当等、子育て世帯への支援を充実させることで出生率や安定した人口の増加を見込めると思う。その町に住むと何か特典がある等の明確なものがないと田舎に人は新たに入っていない。現実的に言うと子育て世帯にはお金が一番響くと思う。子育て世帯が増えない限り人口は増えていかない。減ったから統合←ばかりしていたら元の良いものまで無くなってしまいうし新たに資金も必要でデメリットが多い気がする。
- ・新生児のお祝い金の大幅増額。
- ・人口が増加しないことには脱却しない。魅力ある町にするために子育て支援は急務だ。以前天水町の頃は子どもが三人以上いる家庭に特別給付金があったと聞く。そういうのを復活させてもいいのではないか。

- ・他県からでも住みたいくなる、魅力ある町にしていくのは、地元の方がこの町を好きになることが大前提ですが、高齢者を大事にされるくらい、これからの子供たちを大事にしていくべきです。もっと若い方が住みやすい町になることが、過疎地域脱却の一つと思います。
- ・天水地区に限らず、玉名市として子どもに対する給付金の拡充（出産祝金含めて）
- ・保育料や教育費無料。子育て世代が移住して来た他県、地域の成功を参考にして下さい。

### ③子どもの遊び場の充実（意見数 12）

- ・子供を遊ばせたくても遊具のある公園や入れる水辺もなく、結局車で公園まで遊びに連れて行ったり、小さい子を育てるという環境も整っていません。
- ・玉東オレンジ公園のように、広くて年代別の遊具が豊富な講演がほしいです。
- ・公園などの遊具の設置(幼児も遊べる)などをすることによって若い世代が移り住んでくるのではないのでしょうか。高齢施設が老朽化で増築もわかりますが小さい子供達も遊べる施設も考えていただきたい。幼児を含む子供達の遊べる所が地元にあると自然と若い世代が戻り住むことによって過疎地域脱却の手立てになるのではないのでしょうか
- ・公園等を設置してほしい（活性化のため）
- ・子どもが遊べる施設を作る（屋内屋外）
- ・子育て世代への魅力がない。長洲町の金鯉公園は羨ましい。熊本市内からも遊びに来る家庭もある。コロナ禍の中において、屋外で遊ぶ場がない。これはかなりのマイナスと感じている。天水町に行く目的がない。
- ・子供が遊べる公園がない。
- ・子供が遊べる場所（公園等）が少なすぎる。わざわざ隣町まで行かないといけない。今後高齢者の割合は増加するだけなので、子育て支援にどんどん力を入れて（明石市などが例）若い世代を増やしていく必要がある。子どもに優しい町は自然と活気づくと思う。
- ・子供達が遊べる場所がない。
- ・大きな公園、遊具。小さな子供が遊べるような施設。駐車場あり。
- ・遊ぶ場所も少ない。
- ・幼児や児童が遊べる遊具有りの公園を作る。

## 5 - (4) 道路・交通

- ・道路・交通については、「熊本市へのアクセスの充実」及び「公共交通機関の充実」に関する意見が多く、次いで、「道路や歩道の整備・補修」に関する意見が続く。

<b>道路・交通</b>	32
熊本市へのアクセスの充実	13
公共交通機関の充実	12
道路や歩道の整備・補修	7

### ①熊本市へのアクセスの充実（意見数 13）

- ・過疎地になりびっくりしました。過疎地を脱却するためには、まず交通の利便性を考えます。そのため、例えば計画中の湾岸線計画の予定ルートを見直し、まっすぐ天水小天地区を通り、熊本市



(島崎又は戸地方面)へトンネルを通して西回りバイパス、宇土へつながらる様にして、熊本市より10分位で小天、玉水がベットタウンになることが、一番の早道だと考えます。

- ・金峰山トンネル開通
- ・熊本市に行く時、河内線を通るのに時間がかかり過ぎる。行く道が一本しかないので困る。
- ・熊本市や他の玉名地域への交通のアクセス等を良くする。
- ・熊本市内にもアクセスしやすいよう道路を整備して頂きたい(トンネル等)
- ・熊本市内への直通的の道路を作ってほしい
- ・熊本市内まで、スムーズに行ける道路を作ってほしい。
- ・熊本市内等にアクセスしやすい道路状況整えてること。
- ・色々と定住化を進めるには、公共交通網の取り組みも大事だろう。道路を整備して、熊本市内からのベットタウン等は。
- ・人口を増加させるため熊本市へのアクセス、直線距離では熊本市と近いが、道路がないため時間を要する。
- ・是非とも熊本市とのトンネル開通を実現させて頂きたい!
- ・生活圏は隣接する熊本市。熊本市へアクセスしやすい道路、交通網整備。
- ・道路の整備をしてほしいです。トンネルを計画して頂き熊本市内にも近くなればいいとおもいます。

## ②公共交通機関の充実(意見数12)

- ・バス利用のしにくさ、同じ市税を納めていても、市街地の方とはサービスの差を感じるのも残念なところだ。
- ・玉名市内の高校に通いたくても、交通手段が少ない
- ・熊本への通勤時間短縮化
- ・熊本市中心部へのアクセス(桜町まで直通バスの拡充、肥後伊倉駅までのバス網整備)改善による子育て世代に対する定住促進(高校への通学に対する不安の解消)が必要。
- ・熊本市内まで行けるバス増便
- ・交通の便利が悪い所も多くあって、買い物、病院に行きづらいので交通網をしっかりと願います。
- ・交通機関を増やしほしい。
- ・交通手段の整理。
- ・公共アクセスが悪い
- ・今現在、車での移動が可能。車に乗れなくなった場合、我が地区では移動手段がない。(バス無し)あと何年生きるかわからないが、それだけが心配。問8の⑧が一番の問題点である。
- ・乗合タクシー等では抜本的な対策にはならない。
- ・天水地域は豊かな自然環境に恵まれ景観もすばらしい地域である。熊本市内にも近いが公共交通が充実していない

## 道路や歩道の整備・補修(意見数7)

- ・安全な町作り(信号機の設置、道路の拡張)
- ・安全な道づくりなどしてほしい。
- ・駅も無いため、利便性を向上させるためには道路をつくるしかない。
- ・交通網の整備は欠かせないと思います。

- ・山を越えれば市内へ短時間で通勤しやすいと言う利点があれば住みたい人は居ると思うのでまだ狭いまの部分の道路の整備を早めに終わらせてほしい。
- ・天水町は生活道路が狭く、自家用車で生活するものとしては、不便である。
- ・道路を増やして頂く

## 5 - (5) 土地利用

・土地利用については、「商業施設等の誘致」に関する意見が最も多く、次いで、「農業振興地域の解除」、「耕作放棄地・空き地の有効活用」に関する意見が続く。

<b>土地利用</b>	23
商業施設等の誘致	12
農業振興地域の解除	7
耕作放棄地・空き地の有効活用	4

### ①商業施設等の誘致（意見数 12）

- ・24時間開いているガソリンスタンドの設置（エネオス系）
- ・24時間開いているスーパーの誘致（マックスバリュ―やゆめマート）
- ・モールなどの施設があると人も寄ってくると思います。
- ・大型ショッピングモールやゲームセンター、ラウンドワンなど遊技場の建設。菊陽、合志市が成功例かと思います。
- ・若い人が残りたいと思う町にして、商業施設などの建設してほしい。
- ・商業施設の充実。
- ・商業施設の充実を図る
- ・地産地消をメインの目的とした商業施設の誘致。
- ・天水は国道 501 号が通っているがずっとハウスと田畑が続いているのでひと区画でも商業が出来る場所を作れば通過点ではなくなると思います。
- ・天水町で全て買物ができるワンストップスペースを確保する。山鹿市では出来ている（私は 95%以上天水町外で買物している）
- ・買い物もスーパーが 1 件、コンビニが 1 件。横島や伊倉、玉名まで足を伸ばしているのが現状です。買い物も町外に出ています。

### ②農業振興地域の解除（意見数 7）

- ・平野部の活用されていない土地がかなりあるので農振地を外す
- ・地元企業、農業の振興や道路等の環境整備は勿論ですが、自然環境を活用した魅力ある街づくり、観光地を目指したい。広域農道等の農振をはずす。
- ・農業振興地が昔のまま、農家の後継者が家を建てにくく町に帰りづらい。
- ・農振区域を県道、市道付近については、解除してもらいたい
- ・農振除外をやすくする
- ・農振地の見直し。家を建てるときに、自分の土地に家を建てれないのは弊害だ!地元民でも土地探し大変だったが、縁もゆかりもない人がこれでは来ない。
- ・農地振興地域の解除を最優先に考えてほしい

#### 耕作放棄地・空き地の有効活用（意見数4）

- ・過疎地＝人口増加を考えると良いのでしょうか。農地が利用しやすい場所は今まで通り活用されているが、そうでないところは後継者がいないということで荒地になっている。
  - ・企業誘致や宅地造成といった整備を余ってる農地や荒れてる農地で有効に使えるようにする。
  - ・高齢化の増大、離農者の増加による放置畑の増加等を再生することが大事かと思う。
- 。畑は荒れている

### 5－（6）地域活動

- ・地域活動については、「話し合う場、集える場づくり」に関する意見が最も多く、次いで、「住みやす地域外の人との交流」、「若年層の負担軽減」に関する意見が続く。

地域活動	22
話し合う場、集える場づくり	8
地域外の人との交流	6
若年層の負担軽減	4
イベント事業開催	2
区費の減額	1
高齢者と若者の意見の違い	1

#### ①話し合う場、集える場づくり（意見数8）

- ・旧村単位での拠点の強化・発展（コミュニティ）
- ・高齢者も増える一方、楽しんで集える場所も作って元気で過ごせるようにする
- ・住民のコミュニティを充実させて、活力のある地域にする。
- ・住民の意見をもっと吸い上げるような集会を多くしてほしい。特に小天東校区の今後については大変な時期になりつつあり、東校を主体とした発展構想など時間をかけて十分協議をしていただきたい。若者が残っていく策を追及してほしい。
- ・選挙投票所の対策として、小天東保育所跡地を利用して小天東公民館建設とか無理でしょうか。現在、すごく荒れています。このまま廃墟を待つのみでしょうか。
- ・地域に老人会、婦人会がなくなって久しい。地域の住民間の連携のためには必要だと思う。
- ・地域住民の集いの場所。
- ・老人会、婦人会がなくなって久しい。地域住民間の連携のためにはこれらの団体は必要だと思う。

#### ②地域外の人との交流（意見数6）

- ・ふるさと納税で天水町を知ってもらおう。
- ・もともと地元出身で離れてから戻ってきました。地元にいる時は気づかなかったんですけど、だいぶ閉鎖的な地域だと思いました。地域の人通し交流は深い
- ・よその人が馴染みにくいと感じます。
- ・旧村単位での拠点の強化・発展（ICT/交流の推進）
- ・担い手不足を痛感する問題等が重要視されると思います。空き家も目立っている。それらを解決するためには、都市との交流を図る

- ・独特の価値観からの脱却。排他的な集団心理からの脱却。

### ③若年層の負担軽減（意見数4）

- ・しばらくは今いる地域住民でやっていかなければならない現実にはかわりないのだから、若い世代、子育て世代ばかりに役職が集中する現状は回避しなければまた人がへってしまう。
- ・少子高齢化による世代構成の不均衡により、若年層への過度な負担が定住意欲を削いでいると考えられる。地域の行事や役職など、若年層が負担に感じる点に対して、もっと積極的に改善していくべきである。
- ・消防団員減少対策及び部の再編
- ・地域の祭りや行事も区長制度も消防団も今の若い人にとっては重荷になっているのではないだろうか。

### ④イベント事業開催（意見数2）

- ・みかんの里スポーツまつりみたいな天水町独自のイベントや催しを増やす。
- ・小天東小学校のグラウンドにストリートピアノをおいてみたらどうか

### ⑤区費の減額

- ・玉名の他の地区に比べ区費が高く使い道も不透明

### ⑥高齢者と若者の意見の違い

- ・価値観の多様化。高齢の方と、中年、少年（若者）世代間での価値の違いが、同じ場所と時間を共有できなくしている。インターネット（情報）やエネルギー（燃料電池）、再生エネルギーなどの技術革新に若い人はついていけても、中高年は変化のスピードについていけない。若い人は都市部で技術競争で進化を望み、望まない人は田舎で平和に暮らせば良いかと思う。故郷へ帰りたと思う人は多いと思うし、天水町に移住したいと思う人もいる。そういう人に希望を聞いて、出来ることがあれば協力すれば良いと思う。

## 5 - (7) 教育

- ・教育については、「教育環境の充実」及び「小学校の早期統合」に関する意見が最も多く、次いで、「教育内容の充実（英語、郷土に関する知識等）」に関する意見が続く。

<b>教育</b>	<b>20</b>
教育環境の充実	6
小学校の早期統合	6
教育内容の充実（英語、郷土に関する知識等）	5
小中学一貫校設立	2
趣味の場の充実	1

### ①教育環境の充実（意見数6）

- ・旧村単位での拠点の強化・発展（玉水小、小天小の存続と発展）
- ・玉水小学校入り口の道を広くしてほしい

- ・高校通学や小学校部活動廃止後のクラブチームへの送迎等、保護者が送迎する負担が増えている。もう少し、児童生徒の送迎に乗り合いタクシー等を低料金で活用できたりするサービスがあれば助かる。
- ・子供達の教育環境として、幼保小中学校と大学の連携を進めて、大学生のインターンシップとして教育現場の活用や交流を進めて、教育先進地域を目指す。色々とやれる事は沢山あるのに、誰も何処も何もやって無いと思います。
- ・小学校跡地に学習塾
- ・働く若いお母さん達への支援のあり方を考える（玉水保育園、玉水小が選ばれる理由にヒントあり）

## ②小学校の早期統合（意見数6）

- ・小学校の合併も遅ーとして進まない。話し合いに行っても、親世代でない年上の人ばかり発言していて、子育て世代の発言が非常にしにくい話し合いだった。こういったことも、若い世代が住みにくいとおもう。
- ・小学校の早期統合、小天東小の活用方法の早期検討
- ・小学校の統合を早期に実現してほしい。検討しすぎ、玉名市の対応遅すぎる。子どもを預ける親の意見を、第一に考えてほしい。
- ・小学校を建てて下さい
- ・小学校合併の早期実現を。合併して地域の人材を一つにまとめる事で、各種ボランティアや児童の安全のための見守り活動などにおいて出来る事も増え手厚くなり子どもたちのためになるはず。
- ・小学校統合を急ぎ、活気のある教育活動のできる環境にしていきたい。よろしくお願いいたします。

## ③教育内容の充実（英語、郷土に関する知識等）（意見数5）

- ・学校での郷土愛護の精神を子どもころから教育する
- ・玉水保育園保護者会の者です。天水だけに留まらずの考えで申し訳ないのですが、単純に「天水で子育てをしたい」という気持ちを持ったことが無いです。私自身は親が残した土地や家があるので、転居の予定は無いのですが、子どもにはもっと可能性がたくさんある地域に住んでほしいと思います。具体例をちゃんとあげられず申し訳ないですが、天水地域の突起した教育、科目があったりしたらいいのと思います（英語、プログラミングなど未来的科目）
- ・公立高校にもあまり魅力を感じない為、結果として熊本市内の高校に進学してしまっている。
- ・子ども達をのびのびと育てらえる学校をつくる。
- ・農業に魅力を感じるような子供を育てる。自然豊かな土地で子供を育てる場所である。

## ④小中学一貫校設立（意見数2）

- ・将来の子どもたちのより良い教育環境整備のためにも、是非、過疎債を利用した中学校と併設型の小学校建設を強く望みます。
- ・天水地域は、今後子供の人数が減少していくので、小中一貫の義務教育学校、例えば「天水学園」（9年間の義務教育学校）設立に向け、積極的に動いてほしい。

## ⑤趣味の場の充実

- ・習い事の種類などの充実

## 5 - (8) 福祉

・福祉については、「医療福祉環境の充実」に関する意見が最も多く、次いで、「天水老人憩いの家のリニューアル」、「高齢者の移動の確保」に関する意見が続く。

<b>福祉</b>	12
医療福祉環境の充実	7
天水老人憩いの家のリニューアル	3
高齢者の移動の確保	2

### ①医療福祉環境の充実（意見数7）

- ・お年寄り、一人暮らしの人達が安心して住める福祉サポート
- ・医療福祉環境を更に良くする。モデルとしては、益城町のような環境だと若い人、小さな子供をもつ家庭が天水町に移住してると思う。
- ・子供の病院は玉名まで出なければいけない
- ・生活環境の整備を図り、ミカン畑の中の老人ホーム等を建設・設置して人口増加で自然豊かな環境を図る。見晴らしの良い畑に老人ホームを作ってほしい。
- ・病院も町外に出ています。
- ・病院を増やす
- ・老人を大切にできる地域にして、周辺の市町村から天水に来て終活を迎える地域にすることが、町民流出が止まるのではないかと思います。

### ②天水老人憩いの家のリニューアル（意見数3）

- ・今、老人憩いの家の改修が持ち上がっていますが、超高齢化社会でお年寄りの憩いの場、抛り所として積極的に活用していかなければなりません。
- ・天水老人憩いの家のリニューアル。
- ・天水老人憩いの家の活性化

### ③高齢者の移動手段の確保（意見数2）

- ・高齢者が多く、買い物、病院等への移動手段の見直し（公共交通の便が悪い）
- ・高齢者の車の運転が危険に感じる。土地柄車を手放すのは不安だと思います。道幅を広くするか電動自転車やシニアカーの補助は出来ないのか？今の高齢者にサポートが十分にあれば若い世代も住み続けて不安がなくなる。

## 5 - (9) 防災・防犯

・防災・防犯については、「防災・減災対策の強化」及び「街灯の増設」に関する意見があった。

<b>防災・防犯</b>	8
防災・減災対策の強化	6
街灯の増設	2

### ①防災・減災対策の強化（意見数6）

- ・旧村単位での拠点の強化・発展（防災）

- ・激甚化する自然災害
- ・災害対策のひとつに避難場所の確保
- ・大雨の時、二の丘からの土砂災害が心配。砂防ダムの計画が立っているが、いつ出来るのか情報が入ってこない。避難の目安になる雨量計等を設置して欲しい。(三の丘、二の丘の麓の集落)
- ・第 1 に人命と財産が守られ、安心して住める環境づくりが必要だと思います。唐人川右岸、横島町側の堤防はコンクリートで改修整備されていますが、左岸、天水町側はまだ土堤で、熊本地震後に穴が開くなどして決壊する危険性があります。昨年大雨の時もあと 20 cmほどで川が溢れるところでした。堤防の樹木伐採や崩れた石垣の応急処置はされましたが、抜本的な対策はとられていません。3年前にも地域の区長全員の署名を玉名市と熊本県に唐人川の調査実施計画の要望書を提出しましたが、一刻も早い左岸堤防の全面的整備をお願いします。整備には多額の費用と年数がかかると思いますが、過疎地域脱却のために安心して住める町づくりのためによりしくお願いします。
- ・地域によっては市水が無いので、消防水利が少ない所があります。市水があれば消火栓の設置もできるので、よりしくお願いします。

## ②街灯の増設

- ・街灯が少ないので、暗い場所が多い。
- ・他県から来たからこそ思うのは、街灯の少ない

## 5 - (10) 環境保全

- ・環境保全については、「川の清掃、回収」及び「自然環境の維持」に関する意見があった。

環境保全	4
川の清掃、改修	3
自然環境の維持	1

### ①川の清掃、改修

- ・(要望) 石橋川(元役場前)、草、ゴミ、土の山でとても汚い川である。旧天水町の時は、建設業の方が土をあげて清掃されていた。大雨の時は、災害の心配もある。年に1回でも良いので梅雨前には、きれいに清掃をお願いしたい。
- ・多面的な機能を有する農村地帯の環境継続(魚やホタルが住める工法)
- ・多面的な機能を有する農村地帯の環境継続(尾田川の改修、川を浚渫し本来の流れを取り戻す)

### ②自然環境の維持

- ・高齢化により良好な自然環境の継続ができなくなっている。

## 5 - (11) その他

・その他については、「過疎地域指定に対する感想」が最も多く、次いで、「地域調査・分析」、「市役所に対する意見」、「事業の進め方」などに関する意見が続く。

その他	33
過疎地域指定に対する感想	8
地域調査・分析	5
市役所に対する意見	5
事業の進め方	5
過疎地域脱却の対策	3
結婚支援	2
説明会を受けての感想	2
専門家への依頼	2
特に無し	1

### ①過疎地域指定に対する感想（意見数8）

- ・過疎化が近年進んでいると理解はしていたが、自分の住んでいるこの天水町が過疎地域に指定されて驚いています。山や海等、豊かな自然に囲まれ、みかん、いちご、トマトや米、農産物にも恵まれた天水町なのにと大変残念です。
- ・過疎地域でいいんじゃないかと思う。
- ・少子高齢化問題等への対策を先行投資することで、本来天水地区に充てるはずの財源を他の地区に還元することができるので、天水地区の過疎指定は玉名市全体の好機と考える。
- ・深く考えて周りを見渡せば、高齢化が進んでいる
- ・他地域からの転入は他地域の過疎化につながる。
- ・天水町が過疎になったのは唯一の産業ともいえる農業の衰退で、他の多くの過疎地と共通しています。地元に残り、創意工夫し、頑張っている若手もいますが少数です。天水でも今後、まだ人口減少が予想されており、過疎地からの脱却ではなく、どう過疎と向き合うか（社会を維持していくか）だと思います。
- ・年代別の減少率？過疎地域から脱却する必要ある？メリットは？過疎地域はイメージ悪い？なぜ？魅力があるかないかの問題。天水町に住みたいと思えば住むし、住みたくないと思えば他の町へ出ていく。過疎の問題は天水町だけの問題ではない。どこへ行ってもこの問題につきあたる。原因は少子高齢化。

### ②地域調査・分析（意見数5）

- ・しっかりとした調査（人間性など）も必要と考える。
- ・どうして過疎になったのか事実関係をしっかり分析する
- ・今住んでいる大人の意見を聞くより、これから社会に出て行く子供達に、どんな物や事があれば天水に残りたくなるかを聞けば、必要な物が見えてくるのではないかと思います。子供は正直です。損得を考えず、発想豊かに答えてくれるのではないのでしょうか。



- ・人口減少の要因は何なのか。具体的に分析し、具体的な対策を（12の取り組みが天水にどのように当てはまるか）
- ・天水町だけで考えることなのか、和水町、南関町とかもそうであれば、協力し合い対策、対応が必要ではないか。人口減少はわかりきったことだから、将来を見据えた物事と思う。今は、天水だが、数十年後は日本全体の話となる。市の考えはどうなのか。どんな考えを持ち、どうしようとしているのかな、どんな市を作りたいのかな。私たちにどんなことを尋ねたいのか、どんな答えが希望なのかな。どこまで考えられているのか、玉名の出生率はいか程か。各町の出生率は。出生率の高い都市、町はどんな取り組みをしています。どんなことをすれば良いでしょうか。そのためには、どんな町、市にしたいかがきちんと考えられ、それを実現していくにはどうしたらよいか。1つ1つ実行し、問題を潰していくことでしょうか。皆の力、頭、知恵で協力し合い頑張りましょう。

### ③市役所に対する意見（意見数5）

- ・アンケートをするのだったら、10代、20代前半にとらないと、その年代が玉名から出ていくので人口減少につながる。
- ・コロナ禍でこれほどの人が多すぎる。クラスターが出たらどうするんですか。誰が責任をとるのですかですか。役所は責任をとらないでしょう。
- ・何年も前から意見は出ているけれども動かない行政。こういうことをしても、変わらない。市役所は形だけして何もしない。
- ・玉名市から分離し、熊本市と合併。なぜ玉名市と合併したのか納得行かない。
- ・全天水町民が考えること、どうしようとしているのか教えてもらいたい。天水だけで考えることでもないでしょう。モデル地区と言う考え方、生かして下さい。

### ④事業の進め方（意見数5）

- ・12項目の計画のロードマップが無いので実施するのか、いつできるのかわからない。
- ・現在のあるものをリノベーションし、経費をかけずにやる方法も必要。事業を行えば費用は発生する
- ・今後、天水地区において計画されている中長期の事業（ハード、ソフト）を前倒しにして事業を進めていくことが望ましい。
- ・商業施設や新しい分譲地や道路や歩道の整備、防犯対策など力を入れてほしい。アンケートとるだけでなく、早期で実行に移してほしい。
- ・天水町の課題を誰が主体的に進めるのか見えてない

### ⑤過疎地域脱却の対策（意見数3）

- ・過疎地域は何も珍しい事ではなく日本の市町村の過半数が該当している。過疎地への支援の目的は何とか地域をこれ以上衰退させずに住んで欲しい。
- ・過疎地域脱却に成功した市や町を参考に、天水町に合った方法で対策をお願いします。
- ・過疎地脱却の政策は勧めてほしいが、過疎地域での今後の地域活動や、地区の維持についても政策を出してほしい。

### ⑥結婚支援（意見数2）

- ・結婚支援を充実
- ・独身でいる人が多い。

#### ⑥説明会を受けての感想（意見数2）

- ・市外からも多くのお客様が来られます。まだ広い駐車場もあるし、若い人とのまちづくりなど地域を活かした仕事を生み、課題を見つけることも必要と思いました。あと、何年出来るかわかりませんが、次世代に継ぐ事、天水の将来を考えていきたいです。説明会に参加できて良かったです。
- ・天水地区は他農村地区同様、自然豊かで色々な農産物が多くありますが、他に誇れたり、魅力のある地区は沢山あります。残念ながら天水地区はありません。

#### ⑦専門家への依頼（意見数2）

- ・このアンケートの結果を元に外部の専門家と話し合っ方針を決めてください。身内だけで話し合うのであればこのアンケートは無駄に終わります。実にならん会議に時間とお金を使う時代はもう終わってますよ。
- ・若い年代に天水の魅力を伝えて定住化を進める為には、良いコンサルタントに携わって頂くのが速道だと思います。

#### ⑧特に無し

- ・別になし